

最期まで口から食べることを支える会 (SKTS) 2019年 第6回 WG 活動議事録

日時：2019年7月9日(火) 20時10分～21時10分

会場：ふれあい歯科ごとう

参加者：五島、阿部、稲山、遠藤、齊藤、堀尾、吉田、佐藤(惟)

テーマ：薬局(薬剤師)との連携事例～ケアマネジャーの立場から～(報告者：阿部修治)

<報告内容>

■事例1：退院後、自宅から残薬が大量に見つかった事例

82歳男性、要介護1、独居、左横隔膜神経麻痺による慢性呼吸不全

医療機関：通院、薬局(自宅近所、馴染み)、訪問看護 処方：6種類(ウルティプロ吸入用カプセル等)

内容：退院時カンファレンスにて、これまで薬の管理は自分で行っていた。

退院日に訪問看護師と自宅を訪問⇒引き出しから大量の残薬

対応：薬を整理。薬局に残薬数を報告。次の処方箋発行時に疑義照会にて調整を依頼。

※看護師は疑義照会で処方内容変更の提案をDr.にできることを知らなかった。

連携：ケアマネジャー⇔馴染みの薬局

■事例2：経済的負担から治療薬の変更を依頼した事例

69歳女性、要介護2、夫・息子と3人暮らし、骨粗しょう症

医療機関：通院、薬局(病院の門前)、訪問看護 処方：テリボン皮下注(原則週1回)

内容：不定期の通院で注射の治療効果に疑問。訪看から相談あるが経済的理由で週1回の通院困難。

対応：ケアマネジャーより主治医に相談。内服薬(GE)への変更が可能か打診。

連携：訪看⇔ケアマネ⇔医療機関 院外処方ではないため訪看、ケアマネ等による気づきが必要。

■事例3：血糖値の上昇で医療職が連携した事例

85歳男性、要介護1、独居、心不全等

医療機関：訪問診療、訪問薬局(自宅近く)、訪問看護

内容：食事の自己管理が困難な方。アイスクリームとコーラばかり。

訪問診療医が血液検査をし、血糖値が高値であることが判明。

対応：主治医より訪看、ケアマネに招集かかる。血糖降下剤処方。

訪看が特別指示書にて連日服薬管理及び食事指導に入る。薬は訪問薬局が至急対応。

連携：訪問診療医⇔訪問看護師⇔訪問薬局

■事例4：高次脳機能障害患者の服薬コンプライアンス改善例

60歳男性、要介護3、独居、脳梗塞後遺症

医療機関：訪問診療、薬局(訪問診療門前)、訪問看護 処方：6種類

内容：一包化調剤をしているが、自分で薬を飲んだかわからなくなってしまう

対応：①服薬ボックスでの管理を試みたがうまくいかず。(本人から連絡)

②飲み間違い発生。(知人から「薬の余り方が変」と連絡)

⇒朝の薬と晩の薬を間違っで飲んでしまいごちゃごちゃになっていた。

⇒一包化の袋にカラーラインを引いた（「朝は赤いライン、夜は青いライン」）。

③カレンダーの設置場所等、薬局が本人の希望を聞いて随時対応。

連携：ケアマネ⇔訪問薬局（医療機関と連携が取りやすい薬局）

Cf. 薬局にもケアマネと連携が取りやすいところ、本人がなじみのところなど様々ある

<ディスカッション>

- 最後の例（事例4）などはOTが入っていると良かったのではないと思う。病院で薬の飲み方に関するトレーニングもやっていたはずだが…退院後、地域のケアチームに情報がおりてこず、トレーニングが無駄になってしまうこともある。情報をうまくつなげられると良い。こちらで良いと思うようにやってみてもうまくいかないことも多い。入院中の情報が必要。
- みんな痩せていたのか？ ⇒糖尿病の人は痩せていないが、それ以外の人は痩せていた。
- 「配食弁当はまずい」と言って食べなくなりみるみる痩せてしまう人がいる。
⇒宅配弁当 EXPO やります。
- 今のところセブンイレブンのお弁当が一番味が良い？
- 「プラスチック症候群」のようなものもある。器を変えるだけでも食べるようになったりする。
- 事例4についてはヘルパーが帯で入っているので薬の確認はしてもらっている。
⇔お金がない世帯はヘルパーたくさん入れるのは大変。
- 「お薬ロボット」はどうか？ アラーム鳴らしてくれる。安否確認にもなる。
⇒事業所で購入もしたが…なかなか普及しない
- 一包化：メリットとデメリットがある。例えば30日分を一包化すると、途中で薬の変更ができない。変更の場合はすべて処方し直し、すごい無駄になってしまう。飲み忘れると全部抜けてしまう。

<論点まとめ>

- 一般的なケアマネは、薬のことまでなかなか気が回らない。管理できない。難しい。
- 全員が全員、正しく処方通りに飲むというのは無理。薬を飲み忘れていても全然元気な人もいる。
- 認知症の夫婦で夫が妻の薬を全部飲んでいたのでどちらも元気だったという例もあった。奇跡の家庭。
- 認知症の夫婦がそれぞれ処方されていてお互いのものを間違っで飲む事例は結構ある。
- 薬はどんどんどんどん増えていってしまう。1回クリアにしちゃっても大丈夫かも？
- 本当に全部飲む必要あるの？というところから見たほうが良い。薬局との連携が重要。
- 薬のアレルギーは我慢せずに申告すること。

<次回予定>

日 時：2019年8月27日（火）20時00分～

場 所：ふれあい歯科ごとう

発表者：五島先生

以 上